



2024年5月 第760号

教会だより

カトリック甲府教会 月報

〒400-0032 山梨県甲府市中央2-7-10

Tel / Fax 055-237-2531 <http://catholic-kofu.com>

編集・発行 カトリック甲府教会 広報委員会

教皇フランシスコ、2024年復活祭メッセージ（ローマと全世界へ） 2024年3月31日

親愛なる兄弟姉妹の皆さん、主のご復活おめでとうございます。

今日は世界中で、二千年間にわたり、エルサレムで宣言されてきたメッセージが鳴り響きます。「十字架につけられたナザレのイエスは、復活なされた！」（マルコ 16・6 参照）。

教会は、週の初めの日の朝早く、墓へ行った女性たちの驚きを体験します。イエスの墓の入り口は大きな石で塞がれていました。現代でも、大きい石、重い石が人類の希望を塞いでいます。戦争という石、人道危機という石、人権侵害という石、人身取引という石などさまざまな石があります。イエスの女性の弟子たちのように、わたしたちも互いに問うてみましょう。「だれが墓の入り口からあの石を転がしてくれるでしょうか」（マルコ 16・3）。



ご復活祭の朝の驚くべき発見は、巨大な石がわきへ転がしてあったことです。女性たちの驚きは、わたしたちの驚きでもあります。イエスの墓が開けられ、中身は空だったのです。ここからすべてが新たに始まります。あの空の墓を通して、新たな道が始まるのです。その道はわたしたちでは開くことができません。神だけが開くことができになります。つまり、死のただ中での生への道、戦争のただ中での平和への道、憎しみのただ中での和解への道、敵対のただ中でのきょうだい愛への道です。

兄弟姉妹の皆さん、イエス・キリストは復活されました。キリストだけが、いのちへの道を塞ぐ石を取りのける力をお持ちなのです。生きておられるキリストご自身が、その道なのです。キリストこそ道です。いのちへと導く道、平和と和解ときょうだい愛への道なのです。キリストはその道を開かれますが、人間には不可能です。なぜなら、キリストだけがこの世の罪を取り除き、わたしたちの罪をゆるしてくださるからです。神のゆるしがなければ、あの石は動かせません。罪のゆるしがなければ、偏見や非難の応酬、わたしは常に正しく、他者は間違っているという厚かましい考え等の障壁を乗り越えることはできません。復活され

たキリストだけが、わたしたちに罪のゆるしを与えてくださり、新たな世界への道を切り開いてくださるのです。

イエスだけが、いのちの扉を開いてくださいます。それらの扉は、わたしたちが世界中で戦争を繰り返して、いつも閉じてしまう扉です。今日、何よりもまず、わたしたちのまなざしを、イエスの受難と死と復活の神秘を目の当たりにした聖なる都エルサレムと聖地のすべてのキリスト者の共同体へと向けたいと思います。

まず、イスラエルとパレスチナ、そしてウクライナから始まり、世界各地で起きている多くの紛争の犠牲となられている方々のことを、特に考えたいと思います。これらの地域で、戦火に引き裂かれた人々に、復活されたキリストが平和の道を開いてくださいますように。国際法の原則の順守を求めて、ロシアとウクライナが全面的にすべての捕虜の交換を行うことを望みます。全員の交換です！

ガザへの人道援助が確実に行き届くようにと、再び訴えます。そして、昨年10月7日に人質とされた人々を即座に解放することと、ガザでの即時戦闘中止をもう一度求めます。

現在の戦闘が、今や忍耐の限界にある市民に、特に子どもたちに、引き続き深刻な影響を与えることを許してはいけません。わたしたちは子どもたちの目に、どれほどの痛みを見るでしょう。戦争地域の子供たちは、微笑み方を忘れてしまっています。その瞳の中で、わたしたちは問われています。「なぜ？なぜこんなにも死と破壊があるのですか？」と。戦争はいつも不条理で、戦争はいつも敗北を意味します。ヨーロッパや地中海地域に戦争の風が強まることを許してはいけません。武器と再軍備の論理に屈しないでいましょう。武器によって平和は決してもたらされません。差し伸べられた手と開いたところによってもたらされるのです。

兄弟姉妹の皆さん、シリアのことも忘れないでいましょう。シリアは13年もの間、長く続く壊滅的な戦争の影響に苦しんでいます。多くの死者と行方不明者が出ています。それに拡大する貧困と破壊があり、すべての人からの、国際社会からの対応が求められています。

次に、レバノンのことを特に考えます。レバノンは、ここしばらくの間、制度上の行き詰まりと深まる経済、社会的危機を経験しています。それが今、イスラエルとの国境での敵対によって、ますます状況が悪化しています。復活された主が、愛すべきレバノンの人々を慰め、出会い、共存、多様性の地という本来の召命を持つレバノンを支えてくださいますように。

また特に、西バルカン地域のことも考えます。そこでは、欧州への市場統合に向けた大きな歩みが見られます。民族的、文化、宗教的違いが、分裂の原因とならず、ヨーロッパ全体、また世界全体の豊かさの源となりますように。

同様に、アルメニアとアゼルバイジャンの間で持たれている対話を励まします。国際社会の支援を得て、対話への道を進み、国内避難民を支援し、さまざまな宗教の礼拝の場を尊重し、そして決定的な和平合意を、できる限り早く実現できますように。

復活されたキリストが、世界の別の地域で、暴力、紛争、食糧不足、気候変動による影響に苦しむ人々に、希望の道を開いてくださいますように。また、あらゆるかたちのテロの犠牲者を、主が慰めてくださいますように。亡くなったすべての方々のために祈りましょう。それから、テロ犯罪の加害者たちの後悔と回心も願ひましょう。

復活された主が、ハイチの人々を助けてくださいますように。そうして、ハイチでの暴力、荒廃、流血に早急に終止符が打たれ、民主主義ときょうだい愛の道を歩んでいけますように。

キリストが、深刻な人道危機に見舞われているロヒンギャの人々に、慰めと力を与えてくださいますように。内紛により、何年も引き裂かれているミャンマーに和解の道を開いてください。そうして、暴力に頼るという考え方が、確実になくなりますように。

主が、アフリカ大陸、特にずっと苦しみ続けているスーダン、サヘル地域、アフリカの角の国々、コンゴ民主共和国のキヴ地域、モザンビークのカボ・デルガード州の人々にも、平和の道を開いてくださいますように。また、長期にわたって発生している干ばつを収束してください。干ばつは多くの地域を襲い、食料不足と飢餓を引き起こしています。

復活された方が、そのみ顔の光を、移住・移動者の上に輝かせてくださいますように。この人たちは皆、経済的困難の時期を経験されています。困難な時にあるその人たちを慰め、希望を与えてください。キリストが、善意の人々を導き、一丸となって、より良い生活と幸せを求めるもっとも貧しい家族たちが直面する多くの課題を解決することができますように。

御子のご復活という、わたしたちに与えられたいのちを祝うこの日に、わたしたち一人ひとりへの神の限りない愛を思い起こしましょう。その愛は、あらゆる限界と弱さを乗り越えさせてくれます。にもかかわらず、どれほど多くの大切ないのちという賜物が見捨てられていることでしょうか。どれほど多くの子どもたちが生まれてさえこられないのでしょうか。どれほどの餓死者がいて、どれほどの人が基本的な医療を受けられずにいるのでしょうか。あるいは、虐待と暴力の犠牲者がどれほどいることでしょうか。人間の闇取引が増える中で、どれほどのいのちが、人身取引の対象にされているのでしょうか。

兄弟姉妹の皆さん、キリストがわたしたちを死の隷属から解放してくださったこの日に、政治的な責任を負うすべての人々に訴えたいと思います。人身取引という苦しみと闘うことに努力を惜しまないでください。休むことなく、この搾取のネットワークを解体し、その犠牲となられている人たちを解放してください。主が、その人たちの家族を慰め、特に、愛する人の知らせを心配しながら待っている家族を慰め、希望を与えてくださいますように。

ご復活の光が、わたしたちのここを照らし、回心させ、すべての人のいのちの価値を実感させてくださいますように。すべての人のいのちは温かく迎え入れられ、守られ、そして愛されなければなりません。

皆さん、主のご復活、おめでとうございます！

(カトリック中央協議会hpより)



お知らせ



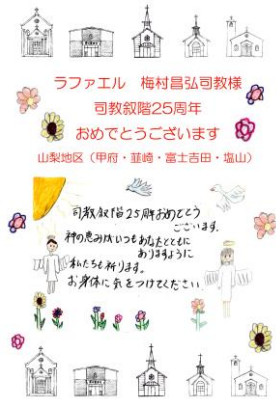
1 きょうかいいいんかい 教会委員会

5月12日（日）11：30～サンタルチア講堂にて教会委員会が行われます。
※当日参加できない場合は、代理の方に出席をお願いしてください。

2 しきょうじょかい しゅうねん うめむらまさひろしきょうさま れいてきはなたば しゅうけいけっか 司教叙階25周年 ラファエル梅村昌弘司教様に霊的花束の集計結果

ラファエル梅村司教様に霊的花束お渡しするため山梨県のカトリック教会全体にてお祈りをお願いしました、集計結果をお知らせいたします。

甲府教会 主の祈り592回 アベマリア712回 ロザリオ122回 小さな犠牲47回 小さな善行54回でした。山梨全体 主の祈り2110回 アベマリア7279回 ロザリオ1018回 小さな犠牲7806回 小さな善行7873回でした。今回の集計結果を横浜教区事務局に報告し、司教叙階25周年感謝状を制作いたしました。5月11日一粒会本部委員会にて司教様に直接お渡しする予定です。ご協力ありがとうございました。



3 ふっかつ しゅじつ しよつきりよう ほうこく 復活の主日パーティーリユース食器利用の報告

3月31日（日）復活の主日パーティーの中で使用いたしました、リユース食器の結果を報告いたします。今回380個の食器を使用いたしました。CO₂を29.26kg削減することができました。スギの木でCO₂を吸収する量に例えると…2.09本分となります！パーティーの後片付けに参加した方々も例年に比べゴミと洗い物が少なくなり後片付けの負担も減ったと好評でした。ご協力ありがとうございました。

なお、パーティー自体も300名ほどの皆様に参加し、参加者の皆様の持ち寄りや女性会が用意したたくさんの美味しい食べ物や飲み物が提供され、舞台では楽しいパフォーマンスが披露され、大好評でした。ご参加とご協力ありがとうございました。



4 「世界広報の日」の献金（5月5日）

カトリック教会は、第2バチカン公会議の最初の公文書として出された「広報機関に関する教令」によって、全世界で毎年、「世界広報の日」を記念するように決めました。日本では、復活節第6主日に「世界広報の日」のために祈り、「世界広報の日」のテーマを教会全体で考え、祈り、献金を行います。



5 地域福祉委員会

- ① 四旬節「愛の献金」ご協力ありがとうございました。献金額 99,309 円をカリタスジャパンに送金いたしました。この「愛の献金」は、各教区を通して、カリタスジャパンに集められ、国内外のもっとも援助を必要としている人々の自立やいのちを守る活動に使われます。
- ② 毎月第1日曜日 9:00～教会の庭等の草刈りを行います。ともに活動していただける参加者を募集しています。
- ③ 2024年 平和旬間 「長崎の鐘」上映会と祈りの集いを開催します。
お知り合いの方々をお誘い頂き、ご参加頂ければうれしく存じます。

1. 日時 2024年8月11日(日) 13時～15時
2. 会場 甲府カトリック教会 サンタルチア講堂
3. 上映する映画 「長崎の鐘」
4. 定員 50名

5. 申し込み方法：センター入口の掲示板に申込用紙へのご記入又は地域福祉委員会事務局(木村 090-8031-9608)までお願い致します。

※映画「長崎の鐘」1950年松竹作品、長崎で被爆した放射線医師 永井隆博士の著作「長崎の鐘」の映画化、藤山一郎のヒット曲「長崎の鐘」は、現在も多くの人々に歌い続けられています。永井博士のカトリック教徒としての信条「医師は病人のためにあるように真の宗教は、心の癒しを求める罪人のためにある」、「愛は隠れて行うもの」ということが全体に著された作品である。また、占領下で反戦・反核を写し、「いのち、そして平和の尊さ」を訴えた「不滅の愛」の映画です。

6 きずなの会

お休み

7 典礼委員会

5月18日(土) 9:30 ～ センターホール

8 地域福祉委員会

5月19日(日) 11:30 ～ サンタルチア講堂

9 山梨地区懇談会

5月25日(土) 14:00 ～ サンタルチア講堂

10 広報委員会

5月26日(日) 11:30 ～ センターホール

にゅうしんしき 入信式

3月30日 復活徹夜祭の中で入信式が行われました。金 喜英（キム ヒヨン）さん
洗礼名 聖 リタ おめでとうございます。



はっせいたい 初聖体

4月7日 ミサの中で初聖体式が行われました。
アヤナ・ホンタノス・コイズミちゃん（4才）洗礼名 マリア
イチロー・ホンタノス・クラレットくん（0才）洗礼名 デイビット
おめでとうございます。





今月の教会カレンダー（典礼暦・外国語ミサ・行事等）



5月 3日（金）	はつきん やす 初金ミサはお休みです。		
5月 5日（日）	ふっかつせつたい しゅじつ 復活節第6主日	10:30	ミサ
		14:00	ベトナム語ミサ (tiếng Việt)
5月 12日（日）	しゅ しょうてん 主の昇天 (復活節第7週)	10:30	ミサ 教会委員会 (ミサ後)
		15:00	ポルトガル語 (Português)
5月 19日（日）	せいれいこうりん しゅじつ 聖霊降臨の主日	10:30	ミサ
		12:30	韓国語ミサ (한글)
5月 26日（日）	さんみいつたい しゅじつ 三位一体の主日 (年間第8週)	10:30	ミサ
		14:00	英語ミサ (English)
6月 2日（日）	きりすとせいたい キリストの聖体 (年間第9週)	10:30	ミサ
		14:00	ベトナム語ミサ (tiếng Việt)
6月 7日（金）	はつきん 初金	9:30	ミサ

※5月3日の初金のミサは、ありません。

月定献金振込先（教会維持費）

山梨中央銀行 本店営業部 普通預金 188674

墓地・納骨堂管理費振込先（毎年1月～5月中に）

山梨中央銀行 本店営業部 普通預金 1402890

受取人（宗）カトリック横浜司教区甲府カトリック教会

